国立大学法人東京農工大学における提出書類等の押印省略に関する規程の
制定に伴う関係規程等の整備に関する規程

（東京農工大学授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程の一部改正）

第1条　東京農工大学授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程（平成16年4月7日16教規程第15号）の一部を次のように改正する。

以下の別紙様式を次のように改める。

［別紙参照1］

［別紙参照2］

［別紙参照3］

［別紙参照4］

［別紙参照5］

［別紙参照6］

［別紙参照7］

（東京農工大学長期履修規程の一部改正）

第2条　東京農工大学長期履修規程（平成30年東京農工大学教規程第2号）の一部を次のように改正する。

別紙様式第1号の様式を次のように改める。

［別紙参照8］

別紙様式第2号の様式を次のように改める。

［別紙参照9］

別紙様式第3号の様式を次のように改める。

［別紙参照10］

（東京農工大学名誉博士称号授与規程の一部改正）

第3条　東京農工大学名誉博士称号授与規程（平成16年11月17日16教規程第77号）の一部を次のように改正する。

別紙様式1の様式を次のように改める。

［別紙参照11］

（国立大学法人東京農工大学病原性微生物等安全管理規程の一部改正）

第4条　国立大学法人東京農工大学病原性微生物等安全管理規程（平成18年9月25日18教規程第29号）の一部を次のように改正する。

様式1の様式を次のように改める。

［別紙参照12］

様式2の様式を次のように改める。

［別紙参照13］

様式3の様式を次のように改める。

［別紙参照14］

様式4の様式を次のように改める。

［別紙参照15］

様式5の様式を次のように改める。

［別紙参照16］

様式6の様式を次のように改める。

［別紙参照17］

様式7の様式を次のように改める。

［別紙参照18］

（国立大学法人東京農工大学外来生物安全管理規程の一部改正）

第5条　国立大学法人東京農工大学外来生物安全管理規程（平成18年9月25日18教規程第30号）の一部を次のように改正する。

以下の別紙様式を次のように改める。

［別紙参照19］

［別紙参照20］

（国立大学法人東京農工大学産官学連携奨励費規程の一部改正）

第6条　国立大学法人東京農工大学産官学連携奨励費規程（平成19年10月24日19経教規程第28号）の一部を次のように改正する。

様式第2の様式を次のように改める。

［別紙参照21］

（国立大学法人東京農工大学役職員倫理規程の一部改正）

第7条　国立大学法人東京農工大学役職員倫理規程（平成16年4月7日16経教規程第33号）の一部を次のように改正する。

様式第1号の様式を次のように改める。

［別紙参照22］

様式第2号の様式を次のように改める。

［別紙参照23］

様式第3号の様式を次のように改める。

［別紙参照24］

（国立大学法人東京農工大学教育職員の任期に関する規程の一部改正）

第8条　国立大学法人東京農工大学教育職員の任期に関する規程（平成16年4月7日16経教規程第25号）の一部を次のように改正する。

別紙様式を次のように改める。

［別紙参照25］

（国立大学法人東京農工大学キャリアチャレンジ教授の任期に関する規程の一部改正）

第9条　国立大学法人東京農工大学キャリアチャレンジ教授の任期に関する規程（平成26年東京農工大学教規程第51号）の一部を次のように改正する。

別紙様式を次のように改める。

［別紙参照 26］

（国立大学法人東京農工大学テニュアトラック教員の任期に関する規程の一部改正）

第 10 条　国立大学法人東京農工大学テニュアトラック教員の任期に関する規程（平成 20 年 4 月 28 日 20 教規程第 24 号）の一部を次のように改正する。

別紙様式を次のように改める。

［別紙参照 27］

（国立大学法人東京農工大学ハラスメントの防止及び対策等に関する規程の一部改正）

第 11 条　国立大学法人東京農工大学ハラスメントの防止及び対策等に関する規程（平成 18 年 2 月 6 日 18 教規程第 2 号）の一部を次のように改正する。

別紙様式を次のように改める。

［別紙参照 28］

（東京農工大学国際交流会館細則の一部改正）

第 12 条　東京農工大学国際交流会館細則（平成 16 年 4 月 1 日細則第 27 号）の一部を次のように改正する。

様式第 9 号の様式を次のように改める。

［別紙参照 29］

（国立大学法人東京農工大学学長候補者選考等細則の一部改正）

第 13 条　国立大学法人東京農工大学学長候補者選考等細則（平成 16 年 10 月 6 日 16 選細則第 2 号）の一部を次のように改正する。

別紙様式 1 の様式を次のように改める。

［別紙参照 30］

（東京農工大学における学生の通称名等使用の取扱い等に関する要項の一部改正）

第 14 条　東京農工大学における学生の通称名等使用の取扱い等に関する要項（平成 30 年 4 月 1 日）の一部を次のように改正する。

別紙様式 1 の様式を次のように改める。

［別紙参照 31］

別紙様式 2 の様式を次のように改める。

［別紙参照 32］

（東京農工大学大学院グローバルイノベーション研究院女性未来育成機構における保育支援制度に関する要項の一部改正）

第 15 条　東京農工大学大学院グローバルイノベーション研究院女性未来育成機構における保育支援制度に関する要項（平成 29 年 3 月 22 日）の一部を次のように改正する。

別紙様式 1 の様式を次のように改める。

［別紙参照 33］

別紙様式 2 の様式を次のように改める。

［別紙参照 34］

（国立大学法人東京農工大学におけるテニュアトラック制度の実施に関する要項に基づくテニュアトラック制度の取扱についての一部改正）

第 16 条　国立大学法人東京農工大学におけるテニュアトラック制度の実施に関する要項に基づくテニュアトラック制度の取扱について（平成平成２０年４月２３日学長裁定）の一部を次のように改正する。

別紙様式 1 の様式を次のように改める。

［別紙参照 35］

（国立大学法人東京農工大学登録証等の発行及び利用に関する要項の一部改正）

第 17 条　国立大学法人東京農工大学登録証等の発行及び利用に関する要項（平成 28 年 10 月 1 日）の一部を次のように改正する。

別紙様式 2 の様式を次のように改める。

［別紙参照 36］

（東京農工大学客員研究者等受入要項の一部改正）

第 18 条　東京農工大学客員研究者等受入要項（平成 28 年 10 月 1 日）の一部を次のように改正する。

別紙様式を次のように改める。

［別紙参照 37］

（国立大学法人東京農工大学における公的機関からの受託事業等の資金交付前使用に係る立替えに関する要項の一部改正）

第 19 条　国立大学法人東京農工大学における公的機関からの受託事業等の資金交付前使用に係る立替えに関する要項（平成 18 年 9 月 6 日制定）の一部を次のように改正する。

別紙様式を次のように改める。

［別紙参照 38］

（国立大学法人東京農工大学業務達成基準取扱要項の一部改正）

第 20 条　国立大学法人東京農工大学業務達成基準取扱要項（平成 22 年 12 月 6 日　役員会決定）の一部を次のように改正する。

別紙様式 1 の様式を次のように改める。

［別紙参照 39］

別紙様式 2 の様式を次のように改める。

［別紙参照 40］

別紙様式 3 の様式を次のように改める。

［別紙参照 41］

別紙様式 4 の様式を次のように改める。

［別紙参照 42］

（東京農工大学年俸制適用教員の業績評価実施要項の一部改正）

第21条　東京農工大学年俸制適用教員の業績評価実施要項（平成27年3月31日制定）の一部を次のように改正する。

別紙様式4の様式を次のように改める。

［別紙参照43］

（東京農工大学教員活動評価実施要項の一部改正）

第22条　東京農工大学教員活動評価実施要項（平成30年3月26日教員評価機構審議会決定）の一部を次のように改正する。

別紙様式3の様式を次のように改める。

［別紙参照44］

（国立大学法人東京農工大学職員懲戒規程に基づく審査手続きに関する申し合わせの一部改正）

第23条　国立大学法人東京農工大学職員懲戒規程に基づく審査手続きに関する申し合わせ（平成１６年４月７日）の一部を次のように改正する。

第6条中「、押印」を削る。

附　則（令和3年4月1日規程第17号）

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

［別紙参照１］

別紙様式

授　業　料　免　除　願

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

学　府　　専攻
研究科　　専攻　　年度入学・学籍番号　　番
学　部　　学科
氏　名

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により、授業料の免除を受けたくお願いいたします。

記

１　免除期間　　年度　　期分

２　免　除　額　　円　［全額　　半額］

３　免除の理由　（詳細に記入のこと）

４　添　付　書　類

（１）家庭状況調書

（２）市区町村長証明書

［別紙参照２］

別紙様式

授　業　料　徴　収　猶　予　願

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

学　府　　専攻
研究科　　専攻　　年度入学・学籍番号　　番
学　部　　学科
氏　名

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により、授業料の徴収猶予を受けたくお願いいたします。

記

１　徴収猶予期限　　年　　月　　日まで　　期分

２　徴 収 猶 予 額　　円

３　徴収猶予の理由　（詳細に記入のこと）

［別紙参照３］

別紙様式

授　業　料　月　割　分　納　願

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

学　府　　専攻
研究科　　専攻　　年度入学・学籍番号　　番
学　部　　学科
氏　名

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により、授業料の月割分納を受けたくお願いいたします。

記

１　分納期間　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで　　期分

２　分納の理由　　（詳細に記入のこと）

［別紙参照４］

別紙様式

入　学　料　免　除　願

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

学　府　　専攻
研究科　　専攻　　年度入学・学籍番号　　番
学　部　　学科
氏　名

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により、入学料の免除を受けたくお願いいたします。

記

１　免　除　額　　円　┌全額┐ └半額┘

２　免除の理由　　（詳細に記入のこと）

４　添付書類

（１）家庭状況調書

（２）市区町村長証明書

（３）その他の参考となる証明書

［別紙参照５］

別紙様式

入 学 料 徴 収 猶 予 願

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

学　府　　専攻
研究科　　専攻　　年度入学・学籍番号　　番
学　部　　学科
氏　名

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により、入学料の徴収猶予を受けたくお願いいたします。

記

１　徴収猶予期限　　年　　月　　日まで

２　徴収猶予額　　円

３　徴収猶予の理由（詳細に記入のこと）

［別紙参照６］

別紙様式

寄　宿　料　免　除　願

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

学　府　　専攻
研究科　　専攻　　年度入学・学籍番号　　番
学　部　　学科
氏　名

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により、寄宿料の免除を受けたくお願いいたします。

記

１　免除期間　　年　　月　　日から
　　年　　月　　日まで

２　免　除　額　　円

３　免除の理由　（詳細に書くこと）

４　添付書類

［別紙参照７］

別紙様式

寄　宿　料　徴　収　猶　予　願

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

学　府　　専攻
研究科　　専攻　　年度入学・学籍番号　　番
学　部　　学科
氏　名

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により、寄宿料の徴収猶予を受けたくお願いいたします。

記

１　徴収猶予期限　　年　　月　　日まで

２　徴 収 猶 予 額　　円

３　徴収猶予の理由　（詳細に記入のこと）

［別紙参照８］

別紙様式第１号(第６条第１項関係)　　年　　月　　日

長　期　履　修　申　請　書

東京農工大学長　　殿

下記により長期履修を希望しますので、必要書類を添えて申請します。

記

<table>
<tr><td>学府名等</td><td colspan="3">学府・研究科　　専攻</td></tr>
<tr><td>ふりがな
氏　名</td><td></td><td>受験番号
又は学籍
番号</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">住所</td><td rowspan="2">〒</td><td>TEL</td><td></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td></td></tr>
<tr><td>勤務先</td><td></td><td>職種</td><td></td></tr>
<tr><td>勤務先住所等</td><td colspan="3">〒
TEL</td></tr>
<tr><td>希望する長期履修期間等</td><td colspan="3">標準修業年限　　年
希望する長期履修期間(①+②)　　年
①長期履修開始（予定）までの在学期間　　年
②長期履修開始　　年　　月から　　年間（ただし、休学期間は除く。）</td></tr>
<tr><td>長期履修を希望する理由等</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>指導教員所見(指導教員が記入してください。)</td><td colspan="3">指導教員名</td></tr>
</table>

長期履修期間の短縮又は長期履修の取りやめをした場合であっても３年(共同獣医学専攻にあっては４年)を超えて、在籍した場合は、授業料の年額に３を乗じた額(共同獣医学専攻にあっては４を乗じた額)を最終年次までに支払うこと及び退職した場

［別紙参照８］

合等、就業環境に変更があった際は、速やかに教務担当窓口に報告し長期履修の扱いについて協議することに同意のうえ申請します。

※勤務先が変更になった場合には、教務担当窓口まで連絡してください。

［別紙参照９］

別紙様式第２号(第６条第２項関係)

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

長期履修短縮申請書

下記により長期履修の短縮を希望しますので、必要書類を添えて申請します。

記

<table>
<tr><td>学府名等</td><td colspan="3">学府・研究科　　専攻</td></tr>
<tr><td>ふりがな
氏　名</td><td></td><td>学籍番号</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">住所</td><td rowspan="2">〒</td><td>TEL</td><td></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td></td></tr>
<tr><td>勤務先</td><td></td><td>職種</td><td></td></tr>
<tr><td>勤務先住所等</td><td colspan="3">〒
TEL</td></tr>
<tr><td>現在の長期履修
の期間</td><td colspan="3">年　　月　～　　年　　月　(　　年間)</td></tr>
<tr><td>短縮後の長期
履修の期間</td><td colspan="3">年　　月 から　　年間（ただし、休学期間は除く。）</td></tr>
<tr><td>長期履修の短縮を希望する理由及び変更後の履修計画</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>指導教員所見(申請者は記入しないで下さい。)</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

※勤務先が変更になった場合には、教務担当窓口まで連絡してください。

［別紙参照 10］

別紙様式第 3 号(第 6 条第 3 項関係)

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

長期履修取りやめ申請書

下記により長期履修の取りやめを希望しますので、必要書類を添えて申請します。

記

<table>
<tr><td>学府名等</td><td colspan="3">学府・研究科　　専攻</td></tr>
<tr><td>ふりがな
氏　名</td><td></td><td>学籍番号</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">住所</td><td rowspan="2">〒</td><td>TEL</td><td></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td></td></tr>
<tr><td>勤務先</td><td></td><td>職種</td><td></td></tr>
<tr><td>勤務先住所等</td><td colspan="3">〒
TEL</td></tr>
<tr><td>現在の長期履修
の期間</td><td colspan="3">年　　月　～　　年　　月(　　年間)</td></tr>
<tr><td>長期履修取りやめによる入学年度からの本来の標準修業年限※1</td><td colspan="3">年　　月　～　　年　　月(　　年間)</td></tr>
<tr><td>長期履修の辞退を希望する理由及び辞退後の履修計画</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>指導教員所見(申請者は記入しないで下さい。)</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

※1.　「標準修業年限」は、学則第 54 条に規定する標準修業年限をいう。

※2.　勤務先が変更になった場合には、教務担当窓口まで連絡してください。

［別紙参照 11］

別紙様式１（第３条第２項関係）

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

推薦者　職・氏名

名誉博士候補者推薦書

下記の者は、名誉博士の称号を授与するにふさわしいと認められますので、東京農工大学名誉博士称号授与規程第３条第２項の規定に基づき、関係書類を添えて推薦します。

記

１．氏名

２．生年月日

３．国籍

４．職業

５．推薦理由

［別紙参照 12］

様式１

レベル２ 病原性微生物等使用承認申請書（新規・継続）

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

実験責任者
（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のレベル２病原性微生物等（病原性微生物等安全管理規程（以下「規程」という。）別表１の BSL2 又は ABSL2 に該当）の実験を申請します。実験の実施に当たっては法令等及び本学の規程を遵守します。

記

１．病原性微生物等の分類：□ウイルス　□細菌　□真菌　□寄生虫　□毒素

２．病原性微生物等の学名及び和名、系統、株、血清型等、分譲元機関名
（判明している情報は全てご記入ください。分譲元機関名については、自分で単離した場合や不明な場合は「～単離株」、「～研究室伝来株」とする等、由来のわかる情報をご記入ください。）

（※規程別表１の該当生物に丸印を付けて当該頁のコピーを添付してください）

３．感染症法の特定病原体等（規程別表２）の該当の有無（　　）

４．監視伝染病病原体（家畜伝染病発生予防規程別紙２）の該当の有無（　　）

５．実験室の場所（キャンパス名、建物名称、室番号等）及びレベル２実験室の認定日

６．保管場所と保管方法

７．実験中のエアロゾル発生の有無（　　）

８．実験従事者（氏名及び職名又は学年）

９．実験期間（５年以内）
令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

１０．動物接種実験（該当があれば記入する）
（１）接種動物名称（　　）
（２）飼育場所（キャンパス名、建物名称、室番号等）及びレベル２実験室の認定日
（　　）
（３）飼育装置は（　）陰圧である/（　）陰圧でない　（○）を付ける
（４）飼育期間（５年以内）：令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日
（５）規程別表１付表２の ABSL２以上の該当の有無（　　）

１１．その他 特記事項（継続の場合は、前回届出年月日、前回承認番号、実験室の場所の追加・削除等）

安全主任者による確認
（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

［別紙参照 13］
様式２

レベル２ 病原性微生物等使用実験終了・中止報告書

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

実験責任者
（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

レベル２病原性微生物等を使用した実験を終了・中止しましたので報告します。　実験終了・中止後のレベル２病原性微生物等の取扱いについては下記のとおりです。

記

１．病原性微生物等の分類：　□ウイルス　□細菌　□真菌　□寄生虫　□毒素

２．病原性微生物等の学名及び和名、系統、株、血清型、分譲元機関名

３．承認番号：

４．実験期間　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日

５．実験終了・中止後のレベル２病原生微生物等の措置について

（１）廃棄処分した場合はその滅菌方法

（２）実験責任者が継続して管理する場合はその保管場所と保管方法

（３）移管する場合は病原性微生物等の名称とその後の管理責任者
（所属・氏名）　　㊞

（４）実験期間中においてレベル２病原性微生物等を譲渡した場合は、譲渡先の管理責任者の所属・氏名

安全主任者

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

［別紙参照 14］

様式 3

レベル３ 病原性微生物等使用承認申請書（新規・継続）

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

実験責任者

（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のレベル３病原性微生物等（病原性微生物等安全管理規程（以下「規程」という。）別表１の BSL3 又は ABSL3 に該当）の実験を申請します。実験の実施に当たっては法令等及び本学の規程を遵守します。

記

１．病原性微生物等の分類：　□ウイルス　□細菌　□真菌　□寄生虫

２．病原性微生物等の学名及び和名、系統、株、血清型等、分譲元機関名

（判明している情報は全てご記入ください。分譲元機関名については、自分で単離した場合や不明な場合は「～単離株」、「～研究室伝来株」とする等、由来のわかる情報をご記入ください。）

（※規程別表１の該当生物に丸印を付けて当該頁のコピーを添付してください）

３．感染症法の特定病原体等（規程別表２）の該当の有無（　　）

４．監視伝染病病原体（家畜伝染病発生予防規程別紙２）の該当の有無（　　）

５．実験室の場所（キャンパス名、建物名称、室番号等）及びレベル 3 実験室の認定日

６．保管場所と保管方法

７．実験中のエアロゾル発生の有無（　　）

８．実験従事者（氏名及び職名又は学年）

９．実験期間（５年以内）

令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

１０．動物接種実験（該当があれば記入する）

（１）接種動物名称（　　）

（２）飼育場所（キャンパス名、建物名称、室番号等）及びレベル 3 実験室の認定日

（　　）

（３）飼育装置は（　）陰圧である/（　）陰圧でない　（○）を付ける

（４）飼育期間（５年以内）：令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日

（５）規程別表１付表２の ABSL3 以上の該当の有無（　　）

１１．その他 特記事項（継続の場合は、前回届出年月日、前回承認番号、実験室の場所の追加・削除等）

安全主任者による確認

［別紙参照 14］

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

［別紙参照 15］
様式４

レベル３ 病原性微生物等使用実験終了・中止報告書

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

実験責任者
（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

レベル３病原性微生物等を使用した実験を終了・中止しましたので報告します。　実験終了・中止後のレベル３病原性微生物等の取扱いについては下記のとおりです。

記

１．病原性微生物等の分類：　□ウイルス　□細菌　□真菌　□寄生虫

２．病原性微生物等の学名及び和名、系統、株、血清型等、分譲元機関名

３．承認番号：

４．実験期間　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日

５．実験終了・中止後のレベル３病原生微生物等の措置について

（１）廃棄処分した場合はその滅菌方法

（２）実験責任者が継続して管理する場合はその保管場所

（３）移管する場合は病原性微生物等の名称とその後の管理責任者
（所属・氏名）　　㊞

（４）実験期間中においてレベル３病原性微生物等を譲渡した場合は、譲渡先の管理責任者の所属・氏名

安全主任者

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

［別紙参照 16］
様式５

レベル３ 病原性微生物等供与申請書

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

実験責任者
（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のレベル３病原性微生物等（病原性微生物等安全管理規程（以下「規程」という。）別表１の BSL3 又は ABSL3 に該当）の供与について申請します。

記

１．病原性微生物等の分類：　□ウイルス　□細菌　□真菌　□寄生虫

２．病原性微生物等の学名及び和名、系統、株、血清型等、分譲元機関名

（規程別表１の該当生物に丸印を付けて当該頁のコピーを添付してください）

３．感染症法の特定病原体等（規程別表２）の該当の有無（　　）

４．監視伝染病病原体（家畜伝染病発生予防規程別紙２）の該当の有無（　　）

５．本学での実験承認年月日と整理番号
（　　年　　月　　日、　　）

６．供与先
（１）大学等（及びその機関）の名称

（２）病原性微生物等を用いる実験室の名称及び設備等

（３）被供与側実験研究管理責任者の連絡先

（４）被供与側実験研究管理責任者の病原性微生物等取扱経歴

７．搬出方法　□郵送　□持参　□その他（具体的に：　　）

８．供与予定年月日　　年　　月　　日

９．その他 特記事項

10．添付書類（申請書に添付のこと）
（１）本学での実験承認書の写し
（２）被供与側の承認書の写し

安全主任者による確認

［別紙参照 16］

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

［別紙参照 17］
様式６

病原性微生物実験室認定申請書

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

実験室管理責任者
（注１）

所属（学府専攻名等）	
職　　名	
氏　　名	
内　　線	
メールアドレス	

（注 1）：実験者ではなく、その実験室を管理する教員が申請すること。共通実験室においては学科長等を実験室管理責任者とし、学科長等が交替しても、実験室状況に変更がなければ登録は自動継続されるものとする。

下記のとおり、病原性微生物実験室の認定を申請します。

記

１．実験室のバイオセーフティレベル（BSL）（○を付ける）
（　）レベル２　、（　）レベル３

２．登録実験室情報

建物名称及び階数(注 2)	
実験室名称(注 2)	
実験室面積（m^2）（注 2）	

（注 2）：建物・実験室名称、面積は、本学ホームページ『教職員向けサイト→キャンパス整備情報→施設図面集』を参照
（次頁に実験室の概略図（安全キャビネット・滅菌器の設置場所、出入口の位置等）を記入）

３．実験室の設備　（○を付ける）
（１）ヘパフィルター付 排気設備（陰圧）　：（　）あり　（　）なし
（２）安全キャビネット　：（　）あり　（　）なし
（３）滅　菌　器　：（　）あり　（　）なし
（４）微生物等保管庫　：（　）あり　（　）なし
（５）手洗い設備　：（　）あり　（　）なし
（６）排水滅菌設備　：（　）あり　（　）なし
※動物飼育室の場合のみ、以下も記入
（７）飼育装置　：（　）陰圧である　（　）陰圧でない
（８）ドアは内開きで、自動閉鎖式　：（　）あり　（　）なし
（９）防護衣の着脱用設備　：（　）あり　（　）なし

４．その他 特記事項

安全主任者による確認

［別紙参照 17］

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

［別紙参照 17］

（実験室の配置と設備状況の見取り図）

（注意）

（１）本学病原性微生物安全管理規程及び家畜伝染病発生予防規程を参考のこと。

（２）出入口には国際バイオハザード標識（様式８）を掲示すること。

（３）実験中はヘパフィルターの無い換気扇や換気式エアコンは停止すること。

（４）建物名称及び実験室名称と面積はキャンパス整備情報（本学ホームページ→教職員向けサイト）に掲載の「建物平面図」を参照のこと。

［別紙参照 18］
様式７

病原性微生物実験室廃止報告書

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

実験室責任者
（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

病原性微生物実験室を廃止しましたので下記のとおり報告します。

記

１．実験室の場所（キャンパス名、建物名称および室番号等）

２．実験室のレベル

３．使用した病原性微生物等の種類

４．実験室の消毒方法

５．その他 特記事項

安全主任者

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

［別紙参照 19］

外来生物飼養等承認申請書

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

飼養等責任者

（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

外来生物飼養等を申請します。飼養等に当たっては法令等及び本学の外来生物安全管理規程を遵守します。

記

１．外来生物の種類：

（　）特定外来生物　（和名：　　）
（学名：　　）

（　）未判定外来生物　（和名：　　）
（学名：　　）

（　）種類名証明書の添付が必要な生物　（大臣許可・届出不要）
（和名：　　）
（学名：　　）

２．　特定飼養等施設の場所（キャンパス名、建物名称および室番号等）

３．　大臣許可・届出の種類（環境省指定様式による）

（　）特定外来生物飼養等許可申請（様式１による）
（　）特定外来生物飼養等許可の更新（様式１による）
（　）特定飼養等施設/管理体制の変更（様式１による）
（　）主たる取扱者の住所氏名等の変更（様式２による）
（　）個体数の増加（購入、譲受、輸入、繁殖、捕獲）/識別措置の実施（様式３による）
（　）個体数の減少（死亡、枯死、処分、譲渡、盗難）（様式４による）
（　）許可証の再交付（様式５による）
（　）特定外来生物飼養等許可証の写しの交付申請（輸入に必要）（様式６による）
（　）許可証の亡失届出（様式７による）
（　）未判定外来生物の輸入又は本邦への輸出届出（様式８による）

４.既に飼養等許可を受けている場合の大臣許可番号　（　　）

５．その他 特記事項

［別紙参照 19］

＜添付書類＞

1．環境省指定様式及び添付図面等（環境省 HP より入手すること）

安全主任者による確認

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

［別紙参照 20］

外来生物飼養等終了・中止報告書

令和　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

飼養等責任者

（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

外来生物の飼養等を終了・中止しましたので下記のとおり報告します。

記

１．外来生物の種類：

（　）特定外来生物　　（和名：　　）

（学名：　　）

（　）種類名証明書の添付が必要な生物

（和名：　　）

（学名：　　）

２．特定飼養等施設の場所（キャンパス名、建物名称および室番号等）

３．承認番号：

４．飼養等期間：

５．外来生物の焼却処分場所と方法

６．その他 特記事項

安全主任者

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

[別紙参照21]

（様式２）

請　求　書

令和　　年　　月　　日

東京農工大学　殿

　国立大学法人東京農工大学産官学連携奨励費支給規程第８条第２項の規定に基づき、産官学連携奨励費を下記のとおり、請求します。

所属

氏名

請求金額　　円

※申請者自身から本様式をメールに添付して申請する場合は押印を省略できることとする。
　なお、代理で申請を行う場合は、申請者の意思が確認できる形(転送・同報等)であれば省略できることとする。

［別紙参照 22］

様式第１号

年　　月　　日

飲食届出書

倫理監督者　殿

所属
職名
氏名

国立大学法人東京農工大学役職員倫理規程第８条の３に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

１　利害関係者との飲食の目的、理由

２　飲食の相手方

３　飲食の内容（飲食に要する予定金額を含む。）

４　飲食の日時

５　飲食の場所

［別紙参照 23］

様式第２号

年　　月　　日

講演等承認申請書

倫理監督者　殿

所属
職名
氏名

国立大学法人東京農工大学役職員倫理規程第９条第１号の承認を得たく、下記のとおり申請します。

記

１　講演等の依頼者

２　講演等の内容（講演等の対象者を含む。）

３　講演等を行う日時、場所

４　報酬の額

上記の申請を承認する。

平成　　年　　月　　日
倫理監督者　　印

［別紙参照 24］

様式第３号

年　　月　　日提出

贈　与　等　報　告　書

東京農工大学長　殿

所属
職名
氏名

国立大学法人東京農工大学役職員倫理規程第１１条に基づき、下記のとおり報告します。

記

贈与等により利益を受け又は報酬の支払を受けた年月日	
贈与等又は報酬の支払の基因となった事実	
贈与等の内容又は報酬の内容	
贈与等により受けた利益又は支払を受けた報酬の価額	
贈与等により受けた利益又は支払を受けた報酬の価額として推計した額を記載している場合にあっては、その推計の根拠	
供応接待を受けた場合にあっては、当該供応接待を受けた場所の名称及び住所並びに当該供応接待の場に居合わせた者の人数及び職業（多数の者が居合わせた立食パーティー等の場において受けた供応接待にあっては、当該供応接待の場に居合わせた者の概数）	
贈与等をした事業者等又は報酬を支払った事業者等の名称及び住所	
第３条第２項の規定の適用を受ける役員等が贈与等を行った場合にあっては、当該役員等の役職又は地位及び氏名（当該役員等が複数であるときは、当該役員等を代表する者の役職又は地位及び氏名）	
贈与等をし、又は報酬の支払をした事業者等と役職員の職務との関係及び本学との関係	

［別紙参照 24］

（注）

（一）「贈与等又は報酬の支払の基因となった事実」欄には、役職員が贈与等により利益の供与を受けた場合にあっては、贈与、供応接待等の事実を、役職員が報酬の支払を受けた場合にあっては、役職員が提供した人的役務の内容並びに役職員が当該人的役務を提供した年月日及び場所その他の当該報酬の支払を受ける基因となった事実に関する事項を記載する。

（二）「贈与等の内容又は報酬の内容」欄には、金銭、有価証券、有価証券以外の物品、不動産、役務の提供又は供応接待の区分及びそれぞれの種類を記載する。

（三）「贈与等により受けた利益又は支払を受けた報酬の価額として推計した額を記載している場合にあっては、その推計の根拠」欄には、販売価格の照会に対する回答に基づく推計、カタログに記載された価格に基づく推計等役職員が価額を推計した根拠を記載する。

（四）贈与等又は報酬の支払１件につき１枚に記入する。

［別紙参照 25］

別紙様式

同　　意　　書

年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

氏名（自署）

私は、国立大学法人東京農工大学○○○○○○に就任するに際し、大学の教員等の任期に関する法律（平成９年法律第８２号）第５条第１項及び国立大学法人東京農工大学教育職員の任期に関する規程第２条の規定に基づき、下記の任期により雇用されることに同意します。

記

年　　月　　日　　から　　年　　月　　日まで

注１）　○○○部分には、部局、職名を記入する。

注２）　再任の場合には、上記任期の期間の次に「(再任)」と明記する。

［別紙参照 26］

別紙様式

同　　意　　書

年　　月　　日

国立大学法人東京農工大学長　　殿

氏名（自署）

私は、東京農工大学大学院グローバルイノベーション研究院教授に就任するに際し、大学の教員等の任期に関する法律（平成９年法律第８２号）第５条第１項及び国立大学法人東京農工大学キャリアチャレンジ教授の任期に関する規程第３条の規定に基づき、下記の任期により雇用されることに同意します。

記

年　　月　　日　　から　　年　　月　　日まで

［別紙参照 27］

別紙様式

同　　意　　書

年　　月　　日

国立大学法人東京農工大学長　　殿

氏名（自署）

私は、国立大学法人東京農工大学〇〇〇〇〇〇に就任するに際し、大学の教員等の任期に関する法律（平成９年法律第８２号）第５条第１項及び国立大学法人東京農工大学テニュアトラック教員の任期に関する規程第３条の規定に基づき、下記の任期により雇用されることに同意します。

記

年　　月　　日　　から　　年　　月　　日まで

注１）　〇〇〇部分には、部局、職名を記入する。

［別紙参照 28］

不服申立書

〇年〇月〇日

国立大学法人東京農工大学長　殿

不服申立人
所属
氏名（自署）

〇〇年〇月〇日付け　農工大〇第〇－〇号の文書により通知のあった内容に対し、国立大学法人東京農工大学ハラスメントの防止及び対策等に関する規程第 16 条の 2 第 2 項の規定に基づき、次のとおり不服申立てをします。

１　不服申立てに係る通知を受け取った年月日
　　〇年〇月〇日
２　不服申立ての理由

３　添付書類（主張を裏付ける資料等があれば添付する）
（１）〇〇〇〇　１通
（２）〇〇〇〇　１通

［別紙参照 29］
様式第 9 号
Form　9

退去猶予許可申請書
APPLICATION FOR POSTPONEMENT OF END OF STAY

Date:　　年　　月　　日
Year　Month　Day

東京農工大学国際交流会館長　殿
To:　House Director,
International House
Tokyo University of Agriculture and Technology

氏　　名
Name(block letters)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
署　　名
Signature ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり東京農工大学国際交流会館からの退去を猶予願いたいので申請します。
I wish to apply for postponement of leaving the International House, Tokyo University of Agriculture and Technology.

記

１．会館名及び居室番号 Location of Residence	□府　中国際交流会館　　号室　　階 Fuchu International House　No.　Floor □小金井国際交流会館　　号室　　階 Koganei International House　No.　Floor
２．入居許可期限の最終日 Final date of Residence as stated in the original Permit for Residence	年　　月　　日 Year　Month　Day
３．猶予期間 Desired Period of Postponement	自　　年　　月　　日 From　Year　Month　Day 至　　年　　月　　日 To　Year　Month　Day
４．猶予理由 Reason for Postponement	

上記の者が国際交流会館からの退去猶予を希望しておりますので、これを適当と認め推薦します。
I hereby recommend this postponement for the above researcher/student from at the International House, Tokyo University of Agriculture and Technology.

推 薦 者　　官　職
Recommender　Status ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
氏　名
Name ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

［別紙参照 30］

別紙様式１　　（公表資料）

年　　月　　日

推薦書

国立大学法人東京農工大学

学長選考会議議長　殿

推薦代表者

所属・職名

氏名

私共５名は、国立大学法人東京農工大学学長候補者選考等規程第５条第５項の規定に基づき、関係書類を添えて、下記の者を学長候補者として推薦します。

記

１．被推薦者

氏名

２．推薦理由（１２００字程度）

３．推薦者氏名（自署）（５名）

	所属	職名	氏名
１（代表）			
２			
３			
４			
５			

４．提出書類

①様式１「推薦書」

②様式２「学長候補となるべき適任者の経歴・業績」

③様式３「所信」

④様式４「同意書

［別紙参照31］

（別紙様式1）

通称名等使用申出書

（元号）　　年　　月　　日

東京農工大学長　　殿

学籍番号	
学部・学府・研究科）	
学科・専攻	
学年	
氏名	
保護者氏名	

下記のとおり通称名等を使用したいので、確認書類(戸籍抄本、住民票の写し、医師の診断書等)を添えて下記のとおり申し出ます。

記

1．使用する通称名又は自認する性別

氏名(和文)	姓		名	
氏名(英文)	姓		名	
性別	男性　・　女性			

2．戸籍上(パスポート等)の氏名又は性別

氏名（和文）	姓		名	
氏名（英文）	姓		名	
性別	男性　・　女性			

3．戸籍上の変更年月日　　（元号）　　年　　月　　日
（変更した場合に記入）

4．使用理由：

・学籍事務担当係処理欄

1)使用開始年月日　　（元号）　　年　　月　　日　　確認
（確認書類：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2)学籍簿記録処理年月日　（元号）　　年　　月　　日　　記録

3)その他

［別紙参照32］

（別紙様式2）

通称名等使用中止届

（元号）　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

学籍番号	
学部・学府・研究科	
学科・専攻	
学年	
氏名	
保護者氏名	

下記のとおり通称名等の使用を中止しますので届け出ます。

記

1．中止する通称名又は自認する性別

氏名(和文)	姓		名	
氏名(英文)	姓		名	
性別	男性　・　女性			

2．使用する戸籍上の氏名又は性別

氏名(和文)	姓		名	
氏名(英文)	姓		名	
性別	男性　・　女性			

3．中止年月日　　（元号）　　年　　月　　日

4．中止理由：

・学籍事務担当係処理欄

1)使用中止年月日　　（元号）　　年　　月　　日　確認

2)学籍簿記録処理年月日　（元号）　　年　　月　　日　記録

3)その他

［別紙参照 33］

別紙様式 1

保育支援制度利用登録申込書

令和　　年　　月　　日

女性未来育成機構長　殿

申込者
（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（役職）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以下のとおり、保育支援制度の利用登録を申し込みます。

１．保育施設又はシッターを利用する子

①	ふりがな 氏名		年齢	満　　歳	小学　年
②	ふりがな 氏名		年齢	満　　歳	小学　年
③	ふりがな 氏名		年齢	満　　歳	小学　年
④	ふりがな 氏名		年齢	満　　歳	小学　年

２．配偶者の氏名、所属機関及び職名（申込者が男性研究者である場合のみ記入）

ふりがな 氏名		所属機関	大学･大学共同利用機関･独立行政法人･企業･その他	職名	

3. その他、特記事項等

注. 保育施設又はシッターを利用する子との親子関係の分かる書類（保険証など）の写しを併せて提出すること。

［別紙参照 34］

別紙様式 2

保育支援制度利用申請書

令和　　年　　月　　日

女性未来育成機構長　殿

申請者
（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（役職）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以下のとおり、保育等を利用しましたので、利用料の補助を申請いたします。

１．保育等を利用した子

ふりがな		年齢	満　　歳	小学　年
氏名				

2. 利用した保育施設又はシッターについて

利用日時	利用状況		利用料金
月　日( ) 00:00～00:00	事業者名		円
	保育の種類	夜間･早朝 ／ 休日 ／ 病児･病後児	
	利用理由		
月　日( ) 00:00～00:00	事業者名		円
	保育の種類	夜間･早朝 ／ 休日 ／ 病児･病後児	
	利用理由		
月　日( ) 00:00～00:00	事業者名		円
	保育の種類	夜間･早朝 ／ 休日 ／ 病児･病後児	
	利用理由		
		利用料金合計	円

※利用した保育施設やシッターの領収書など利用内容の分かる書類の写しを添付すること。

［別紙参照 35］

別紙様式１

テニュアトラック制度利用申請書

部局名		部門名	
申請書作成者 氏　　名	（部門長）		
採用希望ポスト	部門　　分野		
職　位	准教授　・　助教	採用予定時期	令和　　年　　月
研究分野の説明			
本学の教育研究分野における位置づけ			
テニュアトラック導入を希望する理　　由			
スタートアップ資金希望総額	１）大学運営費等以外の経費による配分予定額：　　千円 経費名： ２）学内経費による希望額：　　千円 （本部：部局：部門＝　　千円：　　千円：　　千円）		
備　　考			

※大学運営費等以外の経費によるスタートアップ資金の予算措置が確定していない場合は、スタートアップ資金希望総額欄の１）大学運営費等以外の経費による配分予定額、２）学内経費による希望額、の両方を記入すること。

［別紙参照 36］
別紙様式２

登録証発行等申請書

年　　月　　日

（○○○○：部局長名）　殿

申請者（本人又は受入教員）
所属機関名
Affiliation

氏名
Full name

受入教員
部局名　　内線（　　）

氏　名　　（受入教員が申請する場合は、氏名省略可）

国立大学法人東京農工大学登録証等の発行及び利用に関する要項第５条第１項、第７条又は第８条第１項の規定により、登録証発行、更新又は再発行を申請します。

【登録証発行対象者に関する情報】

申　請　区　分 Classification	□新規発行（New issue）	□更新（Renewal）	□再　発　行（Reissue）
区　　分※1 Title・Position		所属機関名 Affiliation	
カ　　ナ Furigana　name			
氏　　名 Name			
English full name※2			
生　年　月　日 Date of birth	（西暦）　　年　　月　　日		
受　入　期　間 Acceptance period	年　　月　　日～　　年　　月　　日		
写真ファイル名※3 Photo file name	.jpg		
連　　絡　　先 Contact information	〒 Postal code	住　　所 Address	
	電話番号 Phone number※4		
	E Mail address ※4		

※1　国立大学法人東京農工大学登録証等の発行及び利用に関する要項第3条第2項別表1に規定する区分（受託研究員、共同研究員等）を記載してください。

※2　原則ヘボン式ローマ字を記載してください。なお、旅券（パスポート）を取得している場合は、旅券の英字氏名を記載してください。

※3　３か月以内に撮影した画像データ（顔が画像全体の３分の２以上を占め帽子等顔を遮るもののない JPEG 形式の画像データ）について、ファイル名を「英字氏名.jpg」、件名を「写真送付」として、本文に所属名、氏名、英字氏名を記載の上、担当者宛に送信してください。

※4　緊急時の連絡として使用します。

備考　個人情報は、登録証発行等のみに使用します。

【担当課処理欄】

許可年月日	有効期限	登録証番号	原　課 担当者	発行年月日	発行部署 担当者
年　月　日	年　月　日			年　月　日	

［別紙参照 37］

別紙様式(第 4 条関係)

客員研究者等受入申請書

年　　月　　日

部局長等　　殿

(学科・専攻・施設の長)
［職名］

［氏名］

客員研究者等の受入れについて下記のとおり申請します。

記

(フ リ ガ ナ) 氏　　名			
生 年 月 日	年　　月　　日（満　　才）	性別	男 ・ 女
住　　所	〒		
略　　歴	(最終学歴) (学　　位) (職　　歴)		
客員研究者等の区分			
受 入 期 間	年　　月　　日 ～　　年　　月　　日(　　年　　か月)		
研 究 課 題 名			
ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名称等			
傷 害 保 険 加 入 状 況 (本務先等で傷害保険の加入がない場合)	加入年月日(　　年　　月　　日) 保険種類及び保険会社名(　　:　　)		
受入教員			

［別紙参照 38］

別紙様式

公的機関からの受託事業等の資金交付前使用に係る立替申込書

年　　月　　日

次長（総務・財務担当）　殿

［部局名］
［職名・氏名］

下記のとおり資金の立替えを申込みます。

記

1．事業名称	
2．プロジェクトコード／所管	／
3．契約等の相手方	
4．事業研究（契約）期間	年　　月　　日から　　年　　月　　日まで
5．事業経費額	円（うち間接経費　　円）
6．事業経費受領予定日 （分割の場合はすべての受領予定日を記入）	年　　月　　日 ※立替期間は、立替承認日から事業経費を受領する前日までとする。
7．立替金額 立替額累計	円（うち直接経費　　円　うち間接経費　　円） 円（うち直接経費　　円　うち間接経費　　円） **※契約書（写）及び支払計画書を1部添付すること。** （契約締結以前の事業等については、採択決定通知書等、当該事業の契約が確認できる書類(写)）
8．立替えを必要とする理由	
9．受入契約等事務担当者	所　属 氏　名

留意事項

1．作成者について
この「公的機関からの受託事業等の資金交付前使用に係る立替申込書」は、立替えを申込む研究代表者等が作成すること。

2．事業名称の名称欄について
受託事業等の名称又は研究課題を記載すること。

3．事業経費額欄について
契約金額又は内定金額を記載すること。前年度に継続分として翌年度の内約を受けたものにあっては、内約金額を記載すること。

4．立替金額欄について
(1)立替を必要とする金額を計上すること。資金の受領が相当期間遅れる研究費にあっては、事業経費額とすることができる。
(2)立替金額の算定に当たっては、受入契約等事務担当者と十分連絡をとり、所要額を算定すること。

5．その他
交付額が立替額を下回る場合の差額分については、原則として、当該研究者（事業責任者）が返還の責を負うものとする。

［別紙参照39］

別紙様式１

令和　　年　　月　　日

業務達成基準適用事業申請書

学　長　　殿

部局等名

部局長名

下記の業務について業務達成基準の適用を申請します。

（単位：円）

部　　局　　名		プロジェクト代表者名	
プロジェクト名			
業務実施期間	平成　　年　　月　　日～平成　　年　　月　　日		
業務の概要			
業務の実施計画	※年度内に事業が終了しない理由を明記すること		
申請額（予算額）	円		
費用内訳	人件費	円	
	設備備品費	円	
	消耗品費	円	
	旅費	円	
	役務費	円	
	その他	円	
	計	円	

［別紙参照40］

別紙様式２

令和　　年　　月　　日

実施計画変更申請書

学　長　　殿

部局等名

部局長名

下記の業務について変更が生じたので承認願います。

プロジェクト名	
プロジェクト代表者名	

変更内容

区分	当初計画	変更後
業務実施期間	平成　　年　　月　　日～ 平成　　年　　月　　日	平成　　年　　月　　日～ 平成　　年　　月　　日
プロジェクト概要及び実施計画		
変更が生じた理由		
予算額（円）	円	円
その他		

［別紙参照41］

別紙様式３

令和　　年　　月　　日

平成　　年度　業務達成状況報告書

学　長　　殿

部局等名

部局長名

下記業務の実施状況について報告します。

（単位：円）

部　　局　　名		プロジェクト代表者名	
プロジェクト名			
業務の成果又は進捗状況			
		※業務の達成度	％
決　　算　　額	（単位：円）		

区　分	当該年度予算配分済額※	当該年度予算執行済額	当該年度執行残額
人　件　費	（　　）		
設備備品費	（　　）		
消耗品費	（　　）		
旅　　費	（　　）		
役　務　費	（　　）		
そ　の　他	（　　）		
計	（　　）		

	事業全体予算額	執行済累計額	残額
全体計画			

※業務の達成度は報告書等で明確な場合のみ記載すること

※前年度からの繰越額がある場合は、上段（　）書きで内数で記入すること

［別紙参照42］

別紙様式４

令和　　年　　月　　日

業務完了報告書

学　長　　殿

部局等名

部局長名

下記業務が完了しましたので報告します。

（単位：円）

部　　局　　名		プロジェクト代表者名	
プロジェクト名			
業務実施期間	平成　　年　　月　　日～平成　　年　　月　　日		
業務の成果又は進捗状況			
決　　算　　額	（単位：円）		

区　分	事業全体予算額	予算執行総額	執行残額
人　件　費			
設備備品費			
消耗品費			
旅　　費			
役　務　費			
そ　の　他			
計			

［別紙参照 43］

（別紙様式 4）

業績評価に係る異議申立書

提出日　　年　月　日

理事（教育担当）　殿

部局等名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学科・専攻名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職名・氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり、異議申立てをします。

記

１．申立ての趣旨

２．申立ての理由

３．その他

以　上

［別紙参照 44］

別紙様式 3

教員活動評価に係る異議申立書

提出日　　年　月　日

部局等の長　殿
（又は教員評価機構長）

部局等名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
学科・専攻名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
職名・氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり、異議申立てをします。

記

１．申立ての趣旨

２．申立ての理由

３．その他

以　　上

１）本様式は、再評価結果への異議申立て（教員評価機構長宛）の際にも準用できる。